

# 特集

## 肌で感じた異文化体験 第10回 中学生海外派遣

町では、21世紀を担う子どもたちに、国際感覚を身につけてもらおうと平成11年から中学生を海外に派遣しています。今回で10回目を迎え、報告会では、過去に派遣された人たちからの発表もありました。

今年も8月8日から15日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

参加した生徒たちは、「ホームステイ」や「学校訪問」など、貴重な体験をしました。そこでは、外国の文化や歴史、生活習慣などに直接触れ、コミュニケーションの大切さや、国際理解のための英会話の必要性について感じ取りました。

参加した生徒の皆さんに海外派遣後のアンケートをとりましたので、ここで紹介します。



スミスフィールドステイト・ハイスクールで記念写真



先生の協力を得ながら英会話にチャレンジ

全日程表			
	月/日	宿泊等	スケジュール
1	8/8(金)	上三川町 成田空港 (機内泊)	午後2時出発式後成田空港～ オーストラリア・ケアンズへ
2	8/9(土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーとの対面式 (ホストファミリーデー)
3	8/10(日)	ホームステイ	ホストファミリーデー
4	8/11(月)	ホームステイ	学校訪問・体験授業
5	8/12(火)	ホームステイ	学校訪問・体験授業
6	8/13(水)	ホームステイ	グリーン島研修 (世界遺産グレートバリアリーフ)
7	8/14(木)	市内ホテル泊	キュランダ村研修 (世界遺産ディンツリーフォレスト 及びアボリジニの文化)
8	8/15(金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路ケアンズから 成田空港へ バスで上三川町へ

参加者	
所属名	氏名
本郷中学校	高田大輔
	白井悠暉
	榎本佑里香
	遠藤綾乃
	仲山真代
上三川中学校	柴田春香
	天野翔之
	川中子涼介
	廣田有紀
	中原佐貴
	小林真弓
	植田千尋
	小林香央里
	町田紗弥
	坂巻裕太
明治中学校	稲葉光丞
	宮田理絵子
	野原彩乃
	横田舞
	山口美郷
	荒川朱里
	真仲桃子
団長 (本郷中学校教頭)	神山竹男
生徒指導担当 (上三川中学校教諭)	濱野千晶
事務局 (教育委員会)	小島哲史

# 特集

今回の研修にあたって

- ①この研修で学んだことは何ですか？
- ②今後どう生かしていこうと思いますか？
- ③今回の研修で一番印象に残っていることを短歌で表現してください。

の3つの質問の回答を参加した中学生にお願いしました。

## 高田 大輔

- ①違った文化を持つ国で生活することができた経験と、言葉の壁を乗り越えるコミュニケーションの術です。
- ②国際化が進む社会、そして、世界への第一歩として、自信を持って積極的に歩んでいくよう、努めていきます。
- ③ケアンズで出会った人とのふれあいで、心に残ったあたたかさ

## 白井 悠暉

- ①国や言葉が異なっても、コミュニケーションをとりたいという気持ちがあれば、仲良くできるということです。
- ②普段、学校では習わないような英語を多く耳にしました。これからは、様々な場面での英語に目を向け、生活したいです。
- ③恥じらわず一歩踏み出し声かけて通じる心生まれる笑顔

通じる心生まれる笑顔



押しながら削る「かながけ」に挑戦

## 榎本 佑里香

- ①この研修では、「はい」や「いいえ」など、自分の意志をはっきりと伝える力を得ました。
- ②将来、留学や仕事で外国の方と接する時、積極的にコミュニケーションがとれるよう、生かしていきたいです。
- ③振り向けば辺り一面山や海

## 自然豊かな緑の大地

## 遠藤 綾乃

- ①「自分」というのを持つこと。恥ずかしがらずに英語を話し、たくさんの友達ができ、自分の輪を広げられました。
- ②この経験で、積極的な自分になりました。何事も積極的に行動し、これからの国際社会に役立てていきたい。
- ③異国でも伝わる気持ちあいさつでとても大切コミュニケーション

とても大切コミュニケーション

## 仲山 真代

- ①積極性です。知らない言語に出会っても、自分の気持ちは伝えなければいけないと思いました。
- ②この経験でコミュニケーションの大事さに気づいたので、ボランティア活動をやってみたいと思います。
- ③言葉が通じなくても大丈夫

## 大切なのは積極性

## 鯛田 春香

- ①いろいろな人種の人々と会話をし、もっとたくさんの方の人と会話がしてみたいと思うようになったこと。
- ②もっとたくさんの方の言葉の勉強をして、世界中の人々と会話をし、世界中に友達がいるような人になりたいです。
- ③どの国も国の文化は違うけど

## 人の心はみんな同じ

## 颯野 翔之

- ①僕が今、やりたいことや好きなことができて、何事自由なく過ごせるのも、たくさんの方に支えられているおかげだと思います。
- ②困っている人がいたら助けてあげたい。誰かを助けてあげられるような人間になりたいと思います。
- ③英語力ためてみたが通じない

## 痛感したよ言葉の壁に

## 川中子 涼介

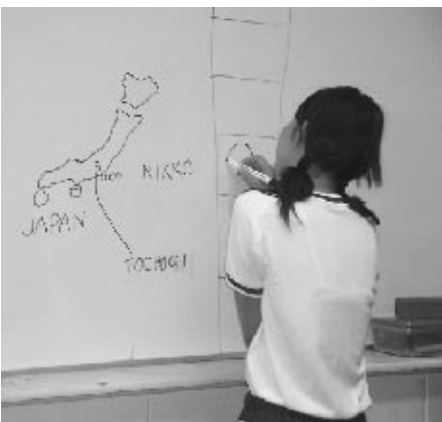
- ①家族・友達の大切さ、英語の楽しさ・難しさ、何事にも諦めないで努力することです。
- ②この研修で学んだことを実行していき、何に対しても自分から積極的に行動できるようにしたいです。
- ③生活や話す言葉が違ってても

## 絆を深めた海外派遣

## 廣田 有紀

- ①外国で実際に英語で一日中会話することは初めてだったので、生の英語に触れることができてよかったです。
- ②言葉は違っても、伝えようとすると心はみんな同じだと思う。どんな人でも、協力することを忘れないようにしたい。
- ③ホームステイ楽しさ感じた四泊五日

## 会話を楽しみ笑顔の寝顔



栃木県の場所を英語で説明

## 中原 佐貴

①何事にも好奇心を持って、進んで仲間と協力し合い、自分自身の責任ある行動をとることの大切さと難しさです。

②どんなことにも挑戦し、どこにいても誰とでも和をもち、教養にも文化にも視野を広げ、グローバル社会で活躍したいです。

③心の輪世界に広げた海外派遣

持ち続けよう広い心

## 小林 真弓

①たとえ、英語が下手でも、少ししか話せなくても、目と目を合わせれば心が通じ合えるということです。

②もっと英語の勉強をし、スラスラと英語が話せるようになったら、将来、外国へ行って仕事をしてみたいです。

③学校で言葉が通じずつらかった

## 植田 千尋

①『笑顔』だと思っています。たとえ言葉が通じなくても、伝えようとして笑顔でいたりすれば、感じてもらえる。

②今まで、自分が学んできたこと、経験してきたことを信じて、いろんなことに挑戦し、学び役立てていきたいです。

③初めてのオーストラリアもういちどみたいなああの美しい景色

## 小林 香央里

①言葉は違ってても、心は通じ合えるということを知りました。また、自主性を持って行動することの大切さを学びました。

②言葉が通じなくても、伝えたいという気持ちをもちつこと。諦めずに何事にもトライすることです。

③学校で積極的に手を挙げる

みんなの姿明日は私も

## 町田 紗弥

①理解したい、伝えたいという気持ちがあれば、お互いに分かり合えること、また、全ての人に感謝する気持ちです。

②どんなことも積極的に取り組み、たくさんのことを学んで自分を成長させ、将来は英語を使う職業に就きたいです。

③たくさんの人との出逢いで受け取った 笑顔・やさしさ・感謝忘れない

## 坂巻 裕太

①言葉や文化、生活が違ってても、お互いの文化について理解したいという気持ちは変わらないということです。

②オーストラリアの研修で学んだことを、多くの人に伝え、そして、自分の生活に生かしていきたいです。

③生活や文化言葉がちがっても大切なのは伝える気持ち

## 稲葉 光丞

①男女問わず、誰でも積極的に会話をすることの楽しさや、友達と助け合うことの大切さです。

②社会に出ても縮こまらず、大きく羽ばたき、人のために動き、人の役に立てるようにしていきたいです。

③グリーン島珊瑚礁の海でわれ泳ぐ 世界遺産を肌で感じる

## 宮田 理絵子

①何事も諦めずに頑張ろうとする心です。

②「もっとたくさんの国を見てみたい。」と思ったので、色々な国に行つて自分を成長させたいと思いました。

③この場所で学んだことは大切な また訪れたいオーストラリア

## 野原 彩乃

①日本と違う生活や文化について学びました。今回出会った人たちのように、自由な心を持つことも大切だと思いました。

②英語力のなさを思い知りました。もっと英語を勉強して国境を越えて活動できる人になりたいです。

③目の色も国の言葉も違うけど わかり合えたよ十四の心

## 横田 舞

①言葉は違ってても「うれしい」と感じる心は同じであること。素直でありのままの気持ちを忘れてはいけないことです。

②「伝えよう」「分かつよう」とする人になりたいです。英語を話せるようになり、生まれたところが少し違うだけと示したい。

③あおいそらはなれていてもつづいてる  
このことばときずなとともに



修了証をいただきました



お別れパーティーでの『よさこいかみのかわ』



山口 美郷

①自分の考えをきちんと伝え、相手の意見を理解する。黙っていないで積極的に話せば、心で通じ合えるということです。

②今後、国際交流が盛んになっていく中で、外国人とも意見交換ができるようになっていきたいと思えます。  
③「わからない」

ホストファミリー微笑んで

いつも優しく教えてくれた

荒川 朱里

①将来のための英語でのコミュニケーションの大切さや、日本の世界への影響力の大きさです。

②今回のことで、学び気づくことの数々を生かして、もっといろいろな世界について学びたいです。

③おどろいた

オーストラリアとの文化の違い

アボリジニのすばらしき文化

真仲 桃子

①みんなと協力すること。それと積極的になれば、言葉も心も通じ合えることです。

②もっと英語の勉強をしたり、外国や社会のことに視野を広げていったりしたいです。

③外国にホームステイをしてみたら笑顔あふれる家族に会えた

## 報告会

8月22日には、上三川町役場で報告会が開催されました。

今回は、今年で20歳になる過去の参加者4名が出席。実際に派遣された時のことが、現在どのように生かされているかなど、具体的な意見が出ていました。

中学生からは、「言葉がなかなか通じず、大変だったが、この経験を今後生かしていきたい。」「ホストファミリーの優しさに感激しました。」などの感想や反省が出ました。また、実際に事前に学習していたことが、現地に行ってみると違う点や文化の違いがたくさんあることに気づいたようです。

今回派遣された中学生は、

①英語力の重要性

②気遣いの大切さ

③文化の相違点を理解すること

などを学んだようです。

過去に参加したOBたちからは、「実際に英語を使うきっかけができた。」「コミュニケーションの重要性を学んだ。」「この経験をいかしていい大人・国際人になってほしい。」などの意見が出ました。

最後に、OBから中学生たちに、「自分から英語を話すこと。また、自分の経験を伝えることが重要。」とのメッセージが伝えられ、報告会が締めくくられました。

## 「各学校のリーダーを目指して」

団長 神山 竹男（本郷中学校教頭）

今回の中学生海外派遣事業は第10回目という記念すべき研修であり、ちょうど北京オリンピック開会式の時に出発となりました。

団員たちにとってスミスフィールド・ハイスクールでの学校訪問・授業への参加・バディとの交流、5日間のホストファミリーとの生活・会話等は、一生忘れられない研修になったと思います。

世話になったホストファミリーやバディとの出会いと別れなど、嬉しさや悲しさ・感謝する心の大切さを味わいました。生徒たちは研修期間中、マナー・団則をよく守り、自ら学ぼうとするとともに、「積極的に行動し、「間違っても挑戦するチャレンジ精神」等の国際感覚を身に付けて帰国しました。

引率者として、上三川町のリーダーとして活躍した団員に対して誇りを感じました。

将来、上三川町の中核となって活躍してくれると確信しました。



生徒たちと記念樹を植樹する神山団長（右側）



経験談を話す参加者OB

お問い合わせ先＝教育総務課 総務係 ☎9155